

9  
月号

第344号

# いっしん

平成25年(2013年)

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市  
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-622895 / FAX 020-4665-5653  
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://www7a.biglobe.ne.jp/~konkokajiki

親思ふ  
心は人の  
まことなり  
神もめぐしと  
みそなはずらむ  
甘本親教会  
初代親先生み歌



## 少年少女全国大会 みんなで御礼参拝

今年もおかけを蒙らせていただき、  
八月の第一日曜日に開催されました  
「教祖百三十年(美十六)金光教少年  
少女全国大会」に御礼参拝させてい  
ただきました。

金光様・親先生をはじめ信徒の皆  
さん方のお祈りをいただき、今年も  
元気に御礼参拝をさせていただくこ  
とができ、ありがたいことでした。

今年は、マイクロナス(レノ)にて、  
二教会十五名(加治木教会十二名・鹿  
児島教会三名)で参拝させていただ  
きました。

「かがやけ大行進」は「鹿児島地  
方教会連合会・ひっとババンド隊」  
で演奏出場し、現在御本部「光風館」  
で御用されてある上荒田教会在籍  
宮内英児先生(長男さん)の奥さんと  
お二人のお子さんも行進に加わって  
下さり、十六名で演奏行進させてい  
ただきました。

教祖130年 少年少女全国大会… P1～3  
輔教志願者講習会に参加して… P6

愛西集会だより… P3～5  
朝参拝日… P7  
教会行事… P8

# 教祖百三十年 少年少女全国大会 参拝

今回は、二泊三日の旅程で参拝計画を立てましたが、出発前日まで往路の運転手が一人しかいなかったため心配だったので、急ぎよ永原久子さんのご主人隼人さんが運転の御用をしてくださることとなり、大型バスの運転経験もあり落ち着いた運転で高速道路を走られ、乗り心地も良くありがたかったです。

さらに、有蘭隆文さんもマイクロバスを運転できることがわかり、手分けしての運転となり、いっそう安全に運転ができました。



マイクロバスで  
鹿児島教会と合同参拝

## 鹿児島地方教会連合会

### 「ひとつとべバンド」で 演奏行進



南九州教区福岡にて  
少年少女全国大会「かがやけ大行進」に参加した、鹿児島地方教会

連合会「ひとつとべバンド」隊は、六月十六日に加音ホールで開かれた「教祖百三十年記念研修会」での、開会前演奏のために練習を重ねていましたので、その成果が発揮されたのか、元気の良い音で演奏できていました。

☆

また「わかば祭」での式典バンド隊は甘木親教会が担当され、加治木教会からも有蘭彰子さんが御用されていたことができました。

一人でも尊いご本部の祭場で演奏の御用ができていただけたこと

は有難いことです。

教祖様がお祀りされてあるご霊地の、教主金光様はじめ、全国から御礼参拝ができた「わかば」のたちの前で、御礼の御用ができたのですからこれほど尊いことはありません。



式典バンドのお手伝いの御用をさせていただきました有蘭彰子さん





これから先、式典バンドのお手伝いの御用のお誘いがあったときには、何人も御用ができるように、日頃からシッカリ練習に励んでおきたいものです。

今回の全国大会参拝は、何かと忙しい中で、参拝計画も十分に立てられなかったにもかかわらず、事故ケガ過ちなく帰り着かせていただき、有難いことでありました。

少年少女全国大会に向けての

# まじごころ運動

ご協力ありがとうございました。



8月1日、月例祭後に、真心を込めておられた鶴つなぎがありました。

- ♡ 折鶴…一七三六羽
  - ♡ 鉛筆…ニダース(二十四本)
  - ♡ 古切手…九十四枚
  - ♡ 使い古しカード…九枚
- が、加治木教会から「わかば祭」にお供えされました。

## 「愛西集会」だより

青木トミ子(始良町北山出身)

平成二十五年六月一日午前十一時より、青木宗一氏・トミ子氏宅において、故向江ナツ工先生旧・佐屋教会長・加治木教会故政美親先生の教え子の一年祭が仕えられ、引き続き、今年第二回目の「愛西集会」(年三回開催が開かれました)。

一年祭のご祭主と「愛西集会」のご教導は、故向江ナツ工先生がご生前に何かとお世話になってあった、名城教会(愛知県長河合利男先生です)六月一日に「愛西集会」で発表された、青木トミ子さんの感話原稿を掲載させていただきます。

………

教会長先生(名城教会長 河合利男先生)、毎年感謝祭を仕えていただけて有難うございます。(年に三回「愛西集会」を開いていただき、二回目に開く六月の集会は、家族・信心友達が集い、河合先生ご祭主にて感謝祭を仕えていただく)

佐屋の先生の一年祭もお仕えいただき、先生(故 佐屋教会長 向江ナツ工先生・トミ子氏実姉)も顔なじみの方ばかりで喜んでおられることと思います。皆さん、毎年お参りして下さり有難うございました。

佐屋教会が閉められました、名城教会に初めてお参りさせていただきましたのは平成十九年十二月でした。主人と一緒に引き寄せいただき「これから参拝させて下さい」とお願いさせていただきました。

お参りさせていただくことのできる教会があるということがとても有難く思われ、涙が流れて仕方ありませんでした。

それでも、名城教会へ参拝させていただくようになって最初の頃は、問題が起こっても、どうにもならなくなつてから御取次を頂くようなことでした。

教会長先生は「どうしてもっと早く御取次を頂いてくれなかったのですか」と悲しまれました。

その後、何年かは、息子たちのことをはじめ私たちにも、難儀な問題が多すぎて御取次を頂いても、お願

いばかりしていました。

ある日、教会先生は「こんどは何にもないときにお参りができるといいな」と、言われたこともありまし



青木宗一氏

トミ子 親身様

トミ子氏

H14年4月

平成二十年から毎春、一月九日・十日に御本部の初月例祭に、先生の車に乗せていただき連れて行っていただいております。

名城教会の信者にならせていただき、今年で六回目の御本部初月例祭に参拝させていただきました。

今年は一月九日・十日に、名城教会信徒研修会にも参加させていただきました。(信徒研修会→「教祖百三十九年研修」は、教会や連合会などが、ご霊地で御祈念・講話・洒掃などの内容を入れて研修を行うと、「北ウイン

グ」利用料金は教団が負担するという制度)

また、この御本部初月例祭参拝を兼ねた研修会の二日間、三人の先生方からお話を聴かせていただき、その頃私が問題にいたしました答えをすべて教えていただいたようなことで、とても有難いことでした。

昨年暮れ、十二月七日の愛西集会の翌日夕方、次男敏秋の家で、次男が七ヶ月の末熟児で誕生し、五四〇グラムというとても小さな身体でした。

敏秋が、教会へ御取次させていただいてから、私方に電話をかけてきました。が、とてもびっくりました。

「これは、青木家に神様が何かのつもりがあつてのことだと思ひ直して一心に祈らせていただければ、神様がよいようにしてください」と信じ祈らせていただきました。

教会長先生は「せっかく授かった命だから死なすわけにはいかない」と言われ、それ以来、日夜御祈念して下さっております。

四月に、保育器からベッドに移ったときの写真を教会へ持って行きま

すと、教会長先生も節美先生(奥様)もとても喜んで下さり、御神殿にお供えして飾って下さいました。そのときの体重は二〇〇グラムでした。教会でいつも御礼とお願いの御祈念をして下さり有難いことでございます。

今年六月一日の青木家の感謝祭(兼愛西集会)の日に連絡が入り、六月四日に、入院中の孫、敏秋の次男輝竜ちゃんが半年目で退院することができると決まり、体重は二八五グラムということでした。

ここまで、手術も、未熟児網膜症のレーザー手術と、ヘルニアの手術(臍の緒の穴からの重い脱腸などをさせていただき、いろいろなところを何回も通らせていただきましたが、快復のおかげを蒙らせていただいております。

病院の先生は「小さな身体で赤ちゃんとよく頑張りました、奇跡的でした」と言われたそうです。

感謝祭、兼愛西集会の日に、神様から青木家のとって忘れることのできないプレゼントを頂き有難い思いでいっぱいになりました。

私たち夫婦、二人とも七十七才にならせていただき、今日まですべてにお繰り合わせを頂き、命のおかげを頂き、今年教祖百三十年祭、名城教会布教六十五年祭のお年柄で、さらに結婚して五十年(十二月五日)を迎えさせていただけます。

幸せなことですが、心新たにして二人の息子達の家族と共に、信心を続けさせていただいて、難儀なことに合っても、それを乗り越え、「難をみかげに」して「御礼・喜びの信心生活」をさせていたきたいと願っています。

結婚して五十年「良かったことをひとつだけあげると何ですか?」と聞かれたら「信心を続けさせていただけのことです」と答えます。

五十年の間には、嬉しいこともたくさんありましたが、難儀なことが多すぎて、御取次を頂いて神様に助けていただけてきました。

御取次なしで自分の都合の良いように拜んでもおかげを頂けないことも少しずつわかってきました。

名城教会に、月に二・三回、月例祭に参拝させていただいています。途

中、電車を三回乗り換えませんが、足が不自由なため杖を突いて主人に支えられ、二人でお祈り申しながら参拝のおかげを蒙らせていただいています。

これからも、お繰り合わせをいただき、一回でも多くお引き寄せをいただけることを願っています。

息子達、二家族にお願いしたいことは、これから先、いろいろなことがあるかもしれないが、信心を続けさせていただいて、御取次を頂きながら、素直にみ教えを聴かせていただき、家族仲良く助け合って難儀なことに出合っても乗り越えて、おかげを頂いて行けるように、主人と願っています。

久治も敏秋も、御取次を頂く大切さは十分わかっていと思うので、これをいつまでも忘れないように願っています。

三佐子さん、純子さんが、青木家にお嫁に来てくれて有難く思わせていただいております。これからよろしく願います。

教会長先生、皆さん、今日はほんとうに有難うございました。(おわり)

# 輔教志願者講習会に

参加させていただいて

上田 和也

八月二十四日(土)から二十五日

(日)にかけて、輔教志願者講習会がこ本部において開かれ、参加させていただきました。

以前から、鹿児島地方教会連合会信徒部会長の入木さん(大口教会在籍)にお会いするたびに、輔教になることを勧められていました。

このたび親先生から「まだ早いかもしれないけれど、近いうちに甘木親教会に数日間でも修行に行かせてもらい、加治木教会にとっていちばん大切な、信心の原点でもある甘木親教会に伝わる信心の勉強・見習いをさせていただくならば…」と



いう条件で、許可をいただき参加させていただくことになりました。今回の輔教志願者講習会には、全国から九十七名が参加していました。私よりも若い方も高齢の方もありました。

講習会では、教祖様の歴史をはじめ「輔教はどのような御用をするのか」という講義が三回あり、二人の先生と、一人の信者の方が講義をされました。

参加者の信心姿勢が積極的でとても元氣のある方が多いのに驚きました。

班別懇談では、北海道(函館教会の二十代の女性と、東京(銀座教会の三十代の男性と、大阪(玉水教会の三十代の男性の四人でお話しさせていただきました。

玉水教会の方は、積極的にとてもシッカリされており、また、玉水教会からの参加者が多いことと、お話しを聞いて玉水教会の規

模の大きさにも驚かされました。

帰ってきて親先生から「西の甘木、東の玉水と言われるほど、教えも規模も立派な教会だよ」ということなどを聞かせていただき納得させられました。

「補教」とは、教会長を助ける御用をさせていただき、その勉強を毎年各地方で開かれる「輔教集会」に参加させていただき、信心を進めながら、良い御用ができていくように努めていくことが大切と教えていただきました。

輔教志願者講習会に参加し、いろいろな方々に触れて、同じ金光教の信奉者にもシッカリされてある方や感心させられる方がたくさんおられることに驚き、お話しを聴かせていただき気づかされるのがたくさんあり、不思議なご縁や出遭いを感じることが何度もありました。

輔教志願者講習会で勉強させていただいたことを今後も大切にして、信心を進めお役に立たせていただいで行きたいと思えます。

# 朝参拜日

八月二十五日

毎月第四日曜日

午前六時より

家族勢をそろえて参拜できるような  
ことになること、朝参りや日参など信心  
の稽古の足がかりとなるように、毎  
月第四日曜日 午前六時から「朝参拜  
日」を設けて取り組ませていただい  
ています。



八月の「朝参拜日」には、今年御  
本部から各教会に、金光攝胤君五十  
年の偲び草としてお下げになられた  
三代金光様(攝胤様)に関するDVD  
を鑑賞させ  
ていただき  
ました。  
今回は  
『立教一〇  
〇年』とい  
う、昭和三  
十四年の御  
本部のよう  
すを記録し

た二十分ほどの映像でした。

ナレーションも入った記録映像で、  
三代金光様のご神勤のごようすや、  
蒸気機関車が曳く団体列車で、参拜  
者が全国各地から金光駅に到着して  
御大祭に参拜されるようすなどを感  
慨深く拝見させていただきました。

## あしあと

加治木教会行事記録

8月

- 1(木) ●月例祭(報徳) 10時半
- 3(土) (少年少女全国大会 出発)
- 4(日) 少年少女全国大会
- 5(月) (少年少女全国大会 帰着)
- 9(金) 斎掃御用 10時
- 10(土) ●月例祭(生神金光 併せて、大神様 重祭) 10時半
- 14(水) 龍笛稽古
- 19(月) 20(火) 甘木 婦人教師会
- 20(火) 龍笛稽古
- 21(水) 斎掃御用 10時
- 22(木) ●月例祭(天徳堂 乃神様、共励会) 13時半
- 24(土) (有妻) 結婚式・鹿兒島市内
- 25(日) ●朝参拜日 6時
- 26(月) 27(火) 御本部会堂清掃奉仕(小童教育)
- 28(水) 29(木) 教務センター会議
- 31(土) 斎掃御用 10時

信心をもって国家再建に取り組み

立ち上がるうとする時代の空気と、  
金光教の永年にわたる宿願でありま  
したご大祭をお仕えできるご本部祭  
場のご建築が成った奉祝のムードな  
ど、当時のお道の信奉者の勢いが感  
じられました。

## ご霊神様のおまじ

九月

- 中島時彦之霊神 昭和62・09・02
- 平島信彦之霊神 昭和20・09・03
- 前田 満之霊神 昭和20・09・03
- 庄村ミサ之霊神 昭和42・09・05
- 桐野仲太郎之霊神 昭和10・09・09
- 汰木スエ之霊神 昭和55・09・12
- 大重為廣之霊神 昭和24・09・22
- 西本ハル子之霊神 平成17・09・25
- 桐野 整之霊神 昭和45・09・28

「先祖のご霊神様の、現世・幽冥(かくりよ)でのお働きあつての今日の私たちであります。立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。」

九月十四日(土) 十一時より

矢野サダ子白萩大刀自

ご祭主

甘木親教会  
安武道義 親先生

一年祭

九月十六日(祝) 午前十時〜午後三時半

鹿兒島地方教会連合会 申込締切八月末日

第四回信徒部研修会

場所：勤労者交流センター(ダイエーF)

※昼食は各自持参

九月十五日(土)〜十六日(日)十四時より

南九州教区 合同開催

青年ふれあいフォーラム

九月十五日 午前十時 出発

場所：熊本県美里町(カーテンラレ イース家族村)

九月二十二日(祝) 十時半より

月例祭に引き続き

秋季霊祭 奉仕

※祭典後、教話、茶話会。

(霊祭申込用紙、ご記入の上御結界へお届け下さい)

十月五日(土)〜六日(日)

教祖百三十年

御本部生神金光大神御大祭 参拝

大型貸切バスにて参拝の予定、旅費約二万円

教会行事

9月

1(日) 甘木親教会信徒研修の集い 第2回

報徳月例祭 10時半

8(日) 多良木教会(梅本善代) 五年祭

9(月) 斎掃御用 10時

10(火) 生神金光 月例祭 10時半  
大神様

13(金) 御用奉仕

14(土) 矢野サダ子大刀自一年祭

15(日)〜16(祝)

青年ふれあいフォーラム(4県教区 合同開催)

16(祝) 連信徒部研修会(10時)

21(土) 斎掃御用 10時

福元正浩家 霊祭

22(日) 月例祭・共励会 併せて

秋季霊祭 10時半

30(月) 斎掃御用 10時

《未定行事》青年会・若婦人会

10月

1(火) 報徳月例祭 10時半

5(土) 御本部御大祭 出発

6(日) 御本部御大祭 参拝 帰着

9(水) 斎掃御用 10時

10(木) 生神金光 月例祭 10時半  
大神様

斎掃御用 10時

22(火) 月例祭・共励会 13時半

夜の月例祭(若者・若婦 務者向け) 20時

27(日) 朝参拝日 6時

上荒田教会御大祭 11時

11月

1(金) 斎掃御用 10時

2(日) 国東教会 布教110年記念大祭

4(替休) 報徳月例祭 10時半

報徳月例祭 11月のみ移動

※朝参拝日(第四日曜)

十月二十日 朝六時より

九月の第四日曜日は、月例祭と重なるため、設けません。

十月は、家族そろっておかげを蒙らせていただきますように。

加治木教会 バンド練習会

毎週金曜 午後7時より

来年十月二十六日(日)の、甘木親教会 布教百十年記念大祭バンド演奏に参加 させていただき、今日信心のおかげを蒙 らせていただいている御礼を申させてい ただきましよう。